

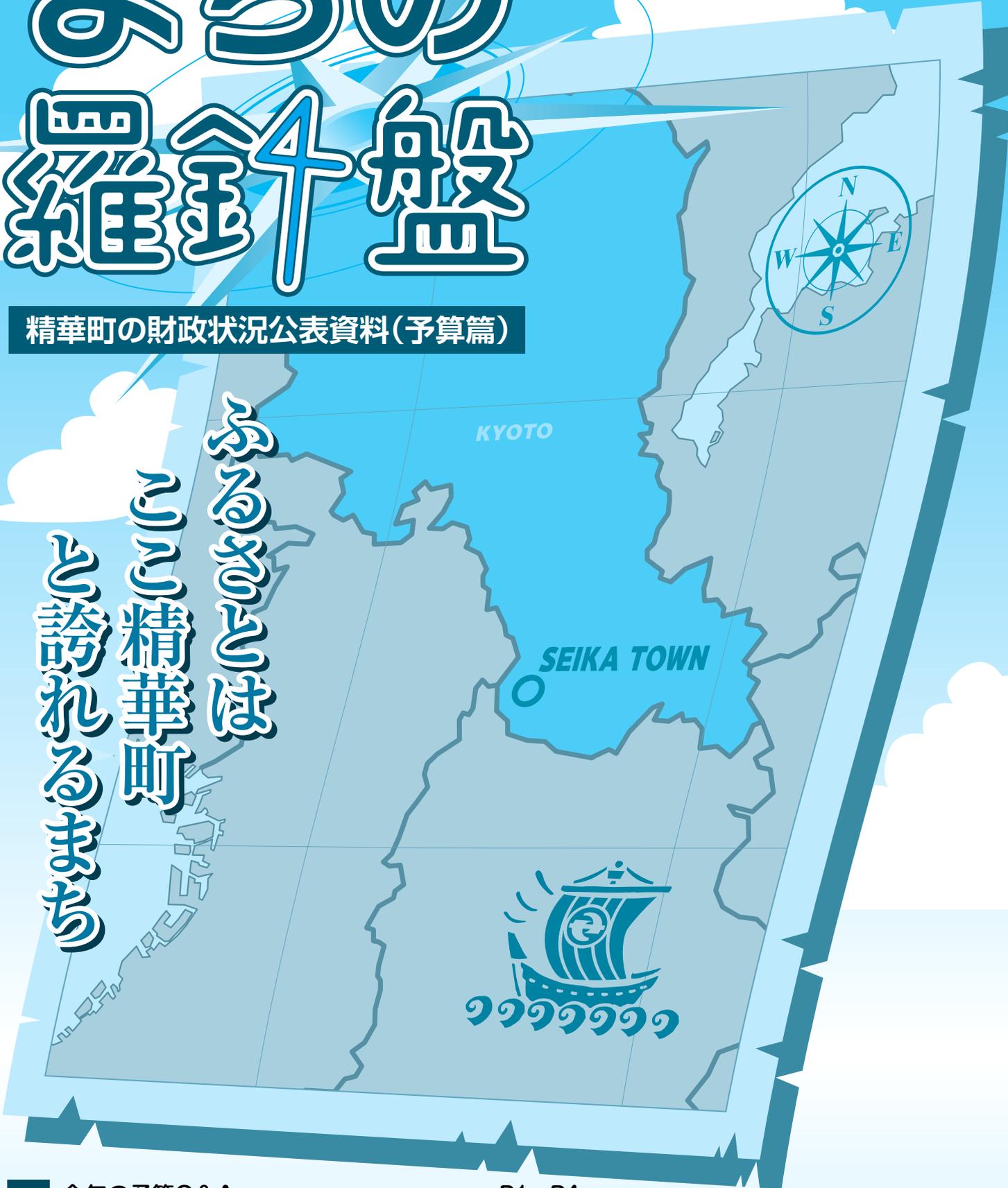
まちの 羅針盤

精華町の財政状況公表資料(予算篇)

ふるさととは

ここ精華町

と誇れるまち



も
く
じ

| | |
|------------------------|---------|
| 今年の予算Q&A | P1~P4 |
| 平成23年度に予定される主な事業 | P5~P14 |
| 町民一人あたりでみる今年の予算 | P15~P19 |
| 財政の用語解説 | P20 |
| 精華町の中期財政見通し | P21~P22 |



Q. そもそも「予算」って何なの？

A. 1年間（4月1日から翌年3月31日まで）の収入と支出の見積りです。

新しい年度が始まる前に、あらかじめ税金などの収入と行政サービスに使う支出の金額を見積もって事業内容などを計画します。この見積りが「予算」です。町の収入の多くは町民の皆さまからの税金であり、予算とはそれらの税金の使い道を示したものとイえます。

Q. 予算って、どうやって決めているの？

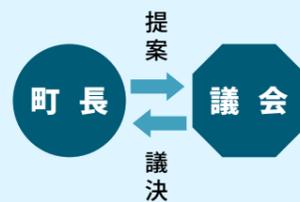
A. 町長が予算案をつくり、議会の審議を経て決まります。

まず、様々な行政サービスを受け持つ役場の各部署が、その年の予算を作るにあたっての方針、関係する法律や条例、規則、そして各種の計画や住民ニーズなどに基づき、翌年度に行う事業の内容を検討します。

町長は、精華町第4次総合計画などの町の計画をもとに政策的に判断し、各部署で検討された案に新たな事業を加えたり、内容を見直す一方で、財源の確保も工夫しながら、最終的な予算案をまとめ、町議会に提案します。

町議会では提案された予算案について、住民の代表である町議会議員により様々な視点から審議が行われます。その結果、予算案が議決されることによって予算が決定されることになります。

予算編成の流れについてのイメージ



Q. 一度決めた予算は、ずっと変わらないの？

A. 当初の予算で見込んでいなかったことが起こった場合は、年度の途中で予算を変更できます。

1年の途中で、予定してなかったことが起こって、支出額や収入額を変更しなければならないことも起こります。当初の予算で見込んでいなかったことが起こった場合には「補正予算」を作って、当初の予算を変更します。

もちろん、予算を変更する場合には、きちんとした理由説明が必要で、当初予算と同様に町議会での議決を経て補正予算を決定します。

Q. 予算って、ひとつじゃないみたいだけど・・・？

A. 大きく分けると、一般会計と特別会計があります。

自治体では一般会計が行政活動に必要な経費や収入の中心となっています。しかし、特定の事業を行う場合や、特定の収入を特定の支出にあてるため、一般会計と区分したほうが効率的な予算管理ができるものがあります。この場合には、法律や条例などに基づいて「特別会計」を設けることができ、精華町では下記のような8つの特別会計を置いています。（老人保健事業特別会計は、平成22年度をもって廃止となっています。）



今年の予算Q&A



基礎知識篇 「基本的なギモンだけど・・・」

Q. 精華町の予算ってどのくらいあるの？

A. 平成23年度の精華町の予算は、一般会計では132億2千万円、上下水道や国民健康保険などの特定の事業を行う8つある特別会計を合わせた町全体の予算総額は216億6,543万円です。

平成23年度は、これまでの行財政改革の取り組みを継続するなかで、選択と集中型への転換をより一層明確にして、懸案課題となっている重点化施策などの具現化に向けて各事業を推進していく考え方を基本として予算の編成を行いました。

前年度と比較すると、一般会計では前年度の126億3千万円に対して5億9千万円の増加(4.7%増)となり、予算総額では前年度214億7,375万円と比較して1億9,168万円の増加(0.9%増)となりました。

前年度からの増減の要因としては、子育て支援医療費助成事業として小学校卒業までの医療費無料化の継続経費(5,400万円)、消防本部の救助工作車の更新(9,000万円)、消防救急指令台の更新(2,000万円)、狛田駅東地区の特定土地区画整理事業の推進(3億7,700万円)、町内小中学校の教室への空調設備設置に向けた設計業務(650万円)や精華中学校の耐震化対応のための改築基本計画策定(150万円)などが主な増加要因であり、主な減少要因としては、精華西中学校の校舎増築事業が平成22年度に完了したことや平成23年8月に開所予定のほうその保育所とほうその第2保育所の統合保育所の新築工事が平成23年度前期で完了することなどがあげられます。

また、特別会計では、介護保険事業で給付費関連経費が増加していることにより会計予算が大きく増加となり、簡易水道事業では、浄水場の老朽化している設備の改修が必要なことから、会計予算の増加率が大きくなっています。一方、公共下水道事業では建設事業費が減少したことにより会計予算が減少し、水道事業でも平成22年度予算で計上して実施している北稲配水池の築造工事関連費用の影響などにより大きく会計予算が減少しています。後期高齢者医療制度への移行に伴い事業規模を縮小していた老人保健事業は、平成22年度をもって経過措置が終了することから、老人保健事業特別会計を廃止します。

特別会計予算全体では前年度と比較すると、4.5%の減少となっています。

●一般会計及び特別会計の予算規模(当初予算)

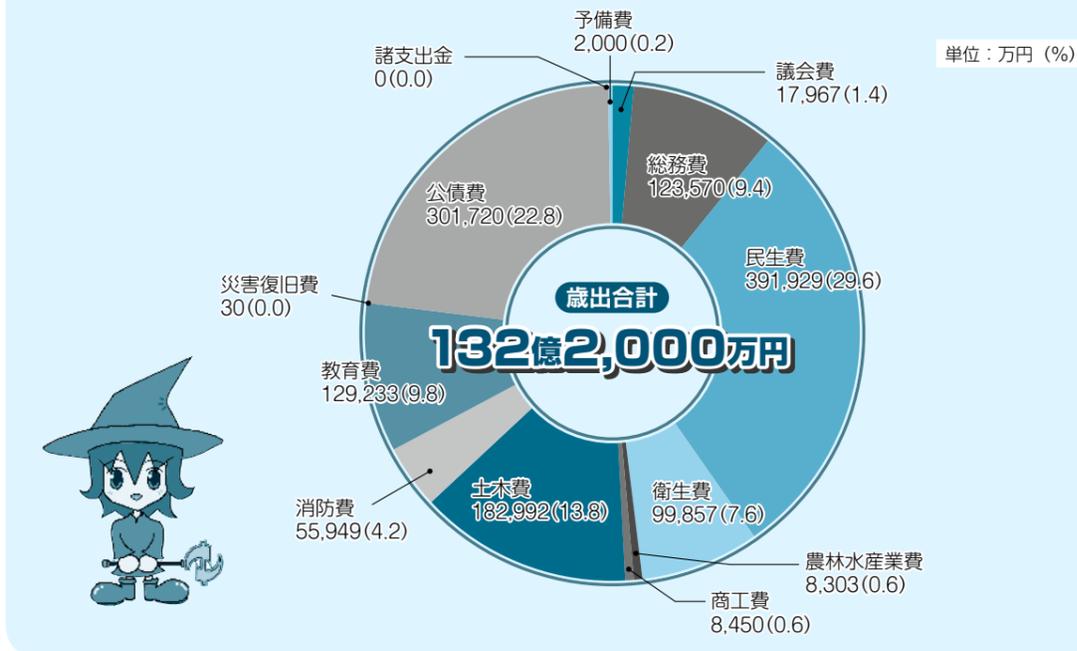
単位：万円、% ▲はマイナス

| 会計名称 | 23年度 | 22年度 | 増減 | 増減率 | |
|----------|----------------|-----------|---------|---------|-------|
| 一般会計 | 1,322,000 | 1,263,000 | 59,000 | 4.7 | |
| 特別会計 | 老人保健事業特別会計 | 0 | ▲196 | 皆減 | |
| | 国民健康保険事業特別会計 | 277,029 | 274,926 | 2,103 | 0.8 |
| | 後期高齢者医療特別会計 | 26,564 | 26,669 | ▲105 | ▲0.4 |
| | 介護保険事業特別会計 | 194,423 | 165,164 | 29,259 | 17.7 |
| | 介護サービス事業特別会計 | 2,534 | 2,832 | ▲298 | ▲10.5 |
| | 簡易水道事業特別会計 | 2,309 | 1,206 | 1,103 | 91.5 |
| | 公共下水道事業特別会計 | 173,021 | 183,755 | ▲10,734 | ▲5.8 |
| | 国民健康保険病院事業特別会計 | 19,272 | 17,090 | 2,182 | 12.8 |
| 水道事業特別会計 | 149,391 | 212,537 | ▲63,146 | ▲29.7 | |
| 小計 | 844,543 | 884,375 | ▲39,832 | ▲4.5 | |
| 総計 | 2,166,543 | 2,147,375 | 19,168 | 0.9 | |

一般会計(支出)篇 「次は支出を見てみよう。どんなことに使われているのかな？」

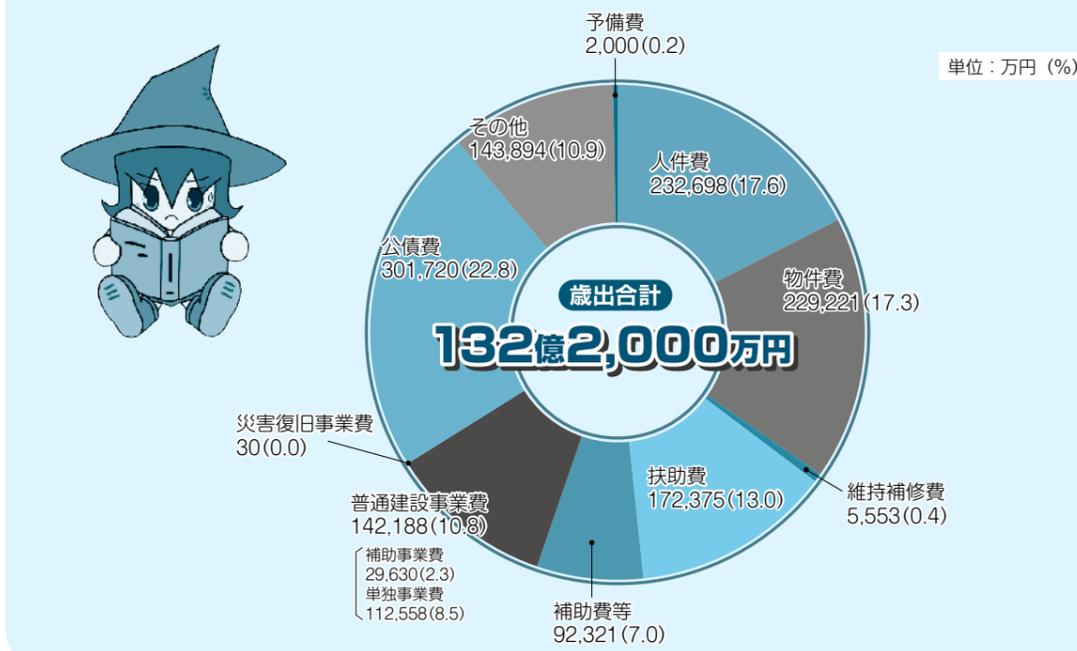
Q. 今年の収入は、どんなことに使われるのかな？

A. 今年の予算を目的別に分類すると、下記のような内訳になります。



Q. 色々な行政活動をしていくためには、どんな経費が必要なの？

A. 今年の予算を経費の性質別に分類すると、下記のような内訳になります。



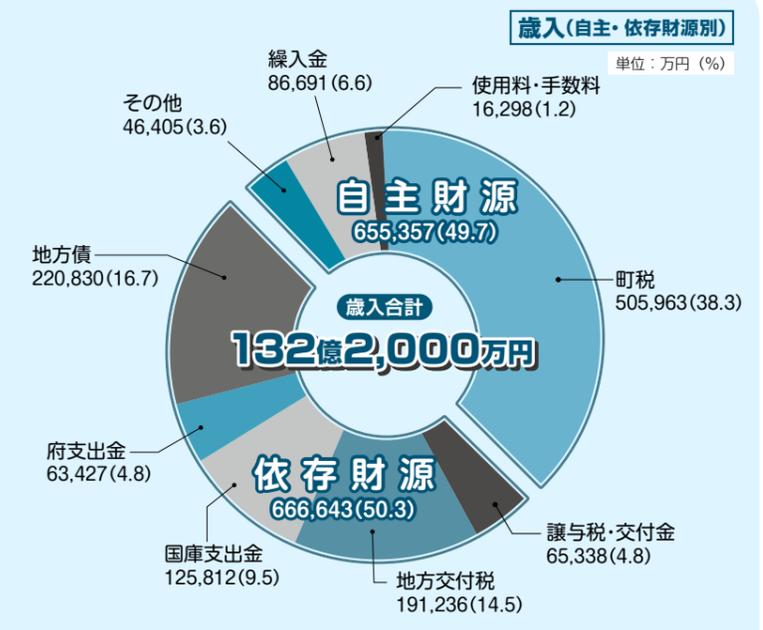
一般会計(収入)篇 「まず、一般会計の収入を見てみよう。」

Q. 精華町の収入って、どんなものがあるの？

A.

一般会計の歳入(収入)は大きく分けると、町の権限で収入することができる自主財源と、国や府を通じて一定の基準や割り当てにより配分される収入である依存財源があります。

自主財源には、町民のみならずから納付いただいた町税が大きな割合を占めており、その他に基金(貯金)の取り崩しによる繰入金、施設利用時の使用料や各種証明書発行の際の手数料などがあります。一方、依存財源には地方交付税、譲与税や各種交付金、国・府支出金、そして地方債(借金)などがあります。



Q. 町税には、どんな種類があるのかな？

A. 町税には課税の方法や対象により種類があります。収入の状況に応じて町民が負担する町民税、法人事業者が利益などに応じて負担する法人町民税、土地や家屋などの評価額に応じて所有者が負担する固定資産税や都市計画税などがあります。



豆知識

●都市計画税のつかいみち●
都市計画税は快適で住みよい街づくりのために、都市計画事業や土地区画整理事業を行う費用の一部にあてるための目的税として課税される税金です。都市計画税は、都市計画道路などの交通施設、下水道、公園といった都市施設の整備を推進するうえで重要な財源となっています。

平成23年度の都市計画税は、こんな事業に使う予定です。 単位：万円

| 事業名 | 23事業費 | 23充当予定額 |
|---------------------|---------|---------|
| 狛田駅東特定土地区画整理事業 | 37,691 | 925 |
| 都市計画事業充当地方債償還金 | 25,984 | 25,984 |
| 公共下水道事業(一般会計からの繰入金) | 64,088 | 9,958 |
| 合計 | 127,763 | 36,867 |

今年の予算Q&A

今年の予算Q&A

男女共同参画社会の実現(145万9千円)

精華町男女共同参画推進委員会を開催し、「精華町男女共同参画計画」推進に関する検討・協議を行うほか、女性リーダーの人材育成のため、「京都府女性の船」事業への参加に対する助成も行います。

精華町男女共同参画推進委員会からの提言を受けて改訂した「精華町男女共同参画計画（後期施策）」を実践するため各種講座や啓発活動を展開します。

また、総合的な相談・支援体制の充実を図るための家庭支援総合相談事業（家庭こころの相談室）について利用促進を図ります。

郷土の歴史の伝承と普及(1,567万9千円)



いごもり祭り

町内にある指定文化財や、収集した古文書・歴史資料、民俗文化財、埋蔵文化財などの文化財の保存と活用を図るとともに、埋蔵文化財包蔵地（遺跡）内での開発に対して発掘調査を実施するなど、保護のための措置を講じます。



②環境共生のまちづくり

快適環境の保全、循環型社会の実現(3億2,292万5千円)

安全・快適な環境づくりを推進するため、住民意識の高揚を図りながら、クリーンリサイクル運動の実施により環境美化に努めるほか、適正な排出・分別収集によってごみの減量やリサイクルの促進に努めます。

また、各種環境施策を効果的に進めるため、（新）精華町環境基本計画のPDCA（計画・実行・評価・見直し）サイクルの構築を図り、環境保全と環境資源を利用した地域活性化をめざします。

（新）打越台環境センターの老朽化に伴うごみ焼却炉補修等工事のため、相楽郡西部塵埃処理組合に対して、所要の分担金を計上しています。



打越台環境センター

里山保全モデルづくりの推進(12万円)

人と自然との共生をめざすまちづくりを展開するため、広く地域や住民に親しまれ、子どもたちが自然の恵みや自然の姿かたちを体感できる憩いの場となる里山保全、森林整備活動を継続的に維持する取り組みを引き続き進めます。

平成23年度に予定されている主な事業

（新）…新規で取り組む事業 （拡）…内容を拡充する事業

①地域に誇りの持てるまちづくり

国際化の推進(274万2千円)

関西文化学術研究都市にふさわしい国際化に対応したまちづくりを進めるため、ノーマン市との姉妹都市関係を軸とした住民レベルでの交流促進を図り、国際理解講座やホームステイなどの事業実施に対する負担や、住民の海外体験助成や国際化プラン推進団体への運営助成を行うほか、英語版生活情報紙「いちご」の発行や、国のJETプログラムによる国際交流員の活動などの各種の事業展開により、住民の国際交流や外国人にとって住みやすい環境整備を推進します。

文化振興の推進(116万円)

関西文化学術研究都市建設の理念を踏まえ、文化芸術の振興によるまちの活性化を目的に、本町の特色ある文化振興を図るため、舞台芸術を中心とする学研都市地域あげでの文化振興の先導的で広域的な取り組みとして「けいはんなふれあいコンサート」を府立けいはんなホールにおいて開催するとともに、役場庁舎交流ホールのパイプオルガンを活用した「精華町交流ホールコンサート」を開催するなどの文化振興を推進します。

せいか祭りの開催(700万円)

世代を越えた住民の交流と地域の活性化を促進するため、「せいか祭り」を開催し、地域や各種団体、世代間の交流を促し、まちの賑わいを創出します。



せいか祭り

第5次総合計画の策定(1,500万円)

地方自治法第2条第4項の規定に基づく基本構想、及び基本計画からなる「精華町第4次総合計画」の目標年次である平成24年を目前に、（新）総合かつ計画的な行政運営を図るため、これに続く「（仮称）精華町第5次総合計画」を策定します。

国民文化祭「青少年合唱フェスティバル」の開催(379万7千円)



国民文化祭プレイベント



マスコットキャラクターまゆまる

（新）平成23年度に開催される国民文化祭（「第26回国民文化祭・京都2011」）において、本町では、平成23年11月6日（日）に「青少年合唱フェスティバル」を開催します。

都市基盤の整備

まちづくりの根幹となる各都市基盤施設などの整備を進め、学研都市にふさわしい生活基盤づくりを進めます。

①道路 (1億2,815万円)

道路では、周辺住民の生活の利便性向上や歩行者の安全を確保するため、歩道整備を行う菅井・菱田線や、府事業の煤谷川改修にあわせた菱田・前川原線の整備及び「川原橋」の架け替え工事の京都府への委託、(新)「狛田こぼし」の架け替えにあわせた下狛10・11号線の整備など引き続き道路整備を行います。

また、狛田駅東特定土地区画整理事業に伴い、狛田駅周辺の歩行者等が安全に通行できる機能確保のための僧坊・前川線の整備を引き続き進めます。

公共下水道の整備と併せた道路整備など、各地域での生活道路の改良も順次進め、くらしに根ざした視点での基盤整備を推進します。

②河川 (1億4,100万円)

河川では、町事業として実施している煤谷川の準用河川部分(光台地区北端部分)の改修を継続し、流下能力を高め、治水対策としての河川改修整備を進めます。

③狛田駅東特定土地区画整理事業 (3億7,690万9千円)

町北部地域の玄関口としてふさわしい、狛田駅へのアクセス道路と交通駅前広場、周辺地区の整備を行い、居住環境の利便性を高めるため、引き続き特定土地区画整理事業を推進します。

上水道・下水道事業

①上水道事業の推進 (水道事業特別会計予算書：14億9,391万2千円)

安全で安心な飲料水の安定した供給をめざし、水道施設の計画的な整備や維持管理の徹底と、公共下水道整備事業と同調した管更新工事や開発関連地区の配水管布設工事などの基盤整備を進めます。

②下水道事業の推進 (下水道事業特別会計予算書：17億3,020万6千円)

京都府の木津川上流浄化センターの供用開始(平成11年度)を契機として、木津川上流流域下水道事業(府施工)や、流域関連精華町公共下水道事業計画(町施工)に基づく幹線管渠の整備や面的整備を進め、健康で快適な生活環境の確保と、公共用水域の水質保全のために、都市としての重要な生活環境基盤である下水道整備を、引き続き推進します。

また、水洗化率の向上をめざし、公共下水道への接続を推進する啓発活動などにも引き続き取り組みます。

雨水排水路の整備では、平成21年度より既成市街地の浸水解消を図るため、雨水排水路整備に事業着手しており、引き続き雨水幹線の整備推進を図っていきます。

交通安全対策の推進 (1,933万9千円)

子どもや高齢者など歩行者の安全を確保し、交通安全対策に目を向けたまちづくりを進めるため、交通安全灯やカーブミラー、通学路標識などの交通安全施設整備と、運転手のマナー向上のための啓発活動を推進します。

また、児童の通学路安全対策として、引き続き交通指導員を配置します。

まちの情報化の促進 (1億8,575万2千円)

精華町情報化基本計画策定事業では、住民アンケートによる地域情報化の進捗と住民ニーズの把握を行い、情報分析を行うなど、「人とひと、人とまちを情報の輪で支えあう豊かなまち」づくりを進めます。

住民窓口サービスを支援する基幹システムの更新時期を迎え、将来に向けて継続して安定した効率的な行政サービスの運用のため、(新)京都府自治体情報化推進協議会の基幹業務支援システムを導入し、証明書発行自動交付機の更新などと併せて窓口サービスや事務効率のさらなる向上を目指します。また、住民窓口サービスを支援する情報システムなどの制度改正への対応や情報基盤設備の保守など維持管理に努めます。

さらに、地域に密着した情報化の推進として、ITサポーター登録制度を活用し、交流スペースでのパソコン相談窓口の充実に加え、各地域へ出向いた相談窓口を充実させるなど住民が利用しやすい機会を提供するとともに、町が実施する各種の住民向けICT(情報通信技術)事業の運営補助、団塊の世代や主婦層などの人材の掘り起こしや育成を進め、住民の情報リテラシー(情報処理能力)のより一層の向上を図るほか、情報発信基地としての機能を高め、地域の活性化にも役立てます。

農業基盤の整備 (490万円)

地元区、水利組合及び川西土地改良区などが行う土地改良施設の維持修繕や改良工事に対して補助を行います。また、農道や農業用水路などにおける国費・府費認定外の災害発生時に、復旧工事や資材購入に対する補助を行います。



農業農村活性化の推進 (1,683万3千円)

町農業委員会と連携を図り、生産性と効率性を高めた農業の確立や農地の有効利用等地域農業の振興を推進します。また、(新)精華町独自のブランド認定制度の導入や担い手農家の確保、育成などの事業推進により、都市と農村の共生のまちづくりを展開します。

さらに、(新)廃ビニール等の分別回収に係る助成、本格実施となる戸別所得補償制度の推進や農業活性化に向けた活動の拠点となる地域資源総合管理センター「華工房」において、地元農産物を加工した特産品の開発や販路の拡大などに努め、農業振興に取り組みます。



いちご狩り

ナント・なら・ずっと!

NANTO 南都銀行

精華支店 ☎ 94-2580
山田川支店 ☎ 72-8661
けいはんなプラザ支店 ☎ 95-5131

医療法人 社団 医聖会

学研都市病院

TEL.0774-98-2123

整形外科・一般内科・消化器科・循環器科・外科・小児科
脳神経外科・泌尿器科・眼科・リハビリテーション科
皮膚科・放射線科・脊椎・脊髄センター・健診センター
人工透析センター

診療時間 AM9:00~12:00 ※救急告示病院
休日 日・祝日/年末年始(12/31~1/3)

なが——い、おつきあい。

貯める、運用する、借り入れる、積み立てる、備える、管理する…
京都銀行は、人生のさまざまなシーンで皆様に応じます。
お気軽にご相談ください。

飾らない銀行 精華町支店
京都銀行 TEL.0774(93)2300

児童福祉の充実(11億265万4千円)

児童に対するきめ細やかな事業で、子どもたちにとって住みよい快適な環境づくりを進めます。

子育てと仕事の両立支援と乳幼児の健全育成を図るために町立5保育所の運営を行い、昨年度から建設に着手しております統合ほうその保育所の開所によって、保育環境のより一層の充実を図ります。

また、多様な保育ニーズに対応して、町内5小学校校区に設置している放課後児童クラブを運営するとともに、かしのき苑、光台近隣センターでの民間運営を継続するとともに、障害児の受入れや、高齢者と児童の世代間交流事業を実施するなど、児童の健全育成を推進します。

安全で安心な子どもの居場所を確保するため、放課後や週末等に、地域の方々の参画を得ながら、学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流など、(拡) 精華まなび体験教室の取り組みを主に学校の敷地内において進めます。平成23年度は、継続して、精北小学校、川西小学校、精華台小学校で実施し、新たに、東光小学校での実施を目指します。



統合ほうその保育所

母子保健の充実(7,821万円)

妊娠期から幼児期における期間の母子の健康保持と子育てに関する知識の普及を図るため、健診事業及び育児指導などの各種教室事業を引き続き推進し、妊婦の健康管理充実のため新たにHTLV-1抗体検査を追加し、妊婦健診の公費負担(14回)を継続して実施します。

また、乳幼児期での接種が効果的な、ヒブワクチン予防接種・小児用肺炎球菌ワクチン予防接種の費用助成を行い、乳幼児期の子育てにかかる費用負担の軽減を図ります。

さらに、子宮頸がん予防ワクチンの予防効果の高い年齢における接種促進を図るため、接種費用の助成を行います。

学校教育の振興(2億8,232万8千円)

すべての児童・生徒が、心豊かに楽しく健康に学校生活を送れるよう、(拡) 就学援助の援助項目の拡充、(新) 相楽ことばの教室川西分室(仮称)の開設、修学旅行や芸術鑑賞などへの助成をはじめ、学校教材の整備を図ります。

また、本町独自の教育の振興を図るため、府立けいはんなホールでの小・中学校文化交流会や、府立山城総合運動公園(太陽が丘)での小学校陸上交歓会の開催など、児童の健全育成に向けた文化・スポーツの交流活動を実施するとともに、学校の伝統や校風、地域の実態に根ざした創意ある教育活動を通じ、魅力ある学校づくり、特色ある学校づくりをより推進するための取り組みを支援します。

今日の子どもを取り巻く情報化社会に適應するため、学校教育における情報教育は必要不可欠なものであることから、児童・生徒の情報教育を推進し、また、情報教育アドバイザーを任用するなど情報教育の質的向上にも努めます。

さらに、学校教育における外国語指導やコミュニケーション活動の強化を図るため、引き続き国のJETプログラムによる外国語指導助手を1名任用します。また、平成21年度からの試行期間を経て平成23年度から本格実施される(拡) 小学校高学年を対象にした外国語活動の充実に取り組みます。



精華町小中学校文化交流会

防災対策の推進・消防活動の充実(5億6,177万1千円)

防災対策の推進や警防・救急・予防の各種消防活動の取り組みにより、「安全で安心して暮らせる災害に強いまちづくり」を進めます。

消防活動においては、消防救急無線のデジタル化に向けた対応を進めるとともに、増加の一途をたどる119番通報の受信に対応し迅速かつ円滑な指令業務を行うため、平成2年に導入した(新) 消防救急指令台の更新を行います。また、災害現場や火災現場に出動し、あらゆる救助活動に対応するために、「消防力の整備指針(平成12年1月20日消防庁告示)」に基づき配備している(新) 救助工作車を更新します。

救急活動においては、住民の生命・身体を守るため、救命処置に必要な(新) 自動体外式除細動器(救急車積載用)の更新を行います。

さらに、必要な各種の救助資器材などを補充するとともに、自主防災組織等との連携強化を図ります。

また、地域の消防力として重要な消防団が、住民の安心・安全を守るため、災害時の円滑な消防活動を実施するために必要な(新) 消防団小型動力ポンプ付積載車(第2分団第4部)の更新を行います。

各自治会や自主防災組織等を中心とした、住民一人ひとりの防災能力の向上を図るとともに、住民を災害から守り、日常的な備えのため、防災訓練を実施し、防災意識の啓発に努めます。

将来に予測される大規模地震時における人的・物的被害を最小限にとどめるため、町内の建築物の耐震化を推し進めるため、京都府の補助制度を活用しながら、(拡) 木造住宅の耐震診断や木造住宅の耐震改修工事を実施する方に対して、費用の一部を引き続き助成します。



防火訓練

③子どもを育むまちづくり

子育て支援の充実(11億249万4千円)

「こどもを守る町」精華町として、子育て家庭に対して育児支援を行い、町内で安心して子育てのできる環境を向上させることで、こどもを守り、育てるまちを目指して、少子化に対する積極的な取り組みを進めます。

子育てにかかる経済的負担軽減の取り組みとして、平成22年度後半から制度拡充した小学校卒業までの医療費無料化により、未来を支える子どもたちの育成を支援します。

また、地域の子育て支援に関する情報提供や子育て家庭の交流の場を提供するため、子育て支援センターを中心に、既設の子育てサポートセンターやつどいの広場に加え、新たに民設によるつどいの広場を開設するなど充実を図るほか、乳幼児用品の貸出を行う「にこここ子育て応援事業」による育児支援を行います。

病気等の回復期にあって集団保育が困難な場合に専用施設等で一時的に預かる病後児保育に加え、(拡) 新たに病気中の児童(病児)も対象とすることで、育児と仕事の両立を支援します。

さらに、(拡) 子ども手当の3歳未満への支給額については、1万3千円から2万円への増額分を計上しています。



子育て支援

高齢者福祉の充実(6億2,228万3千円)

地域福祉の拠点としての役割を担う地域福祉センターかしのき苑や、社会福祉協議会及び特別養護老人ホーム神の園などの事業者との連携により、高齢者福祉サービスの充実を図り、高齢者が住みよい快適な環境づくりを進めます。

高齢者の雇用創出と生きがいづくりを目的に、シルバー人材センターの運営助成を継続するほか、敬老会を開催し、まちづくりの先導者であり地域社会で活躍する高齢者へ敬意を表し、長寿をお祝いします。

また、介護保険事業特別会計や後期高齢者医療制度に必要な経費として、保険給付費や医療費負担の所要経費の繰出を行います。

介護保険事業特別会計では、第6次高齢者保健福祉計画及び第5期介護保険事業計画を策定するため、現行計画の総括・事業所のヒヤリング調査を実施したのち、高齢者保健福祉審議会等で協議等を行い計画を策定します。



精華町敬老会

地域福祉ネットワークの推進(158万4千円)

三世代が支えあうまちづくりをめざして、(拡)地域福祉計画を実践するネットワーク組織を支援し、行政と地域住民が一体となったまちづくりをめざします。

生涯学習・生涯スポーツの推進(1,904万7千円)

住民の学習意欲の高まりに応え、生涯学習を通じて、より豊かで充実した生活を送っていただけるよう、情報化社会に対応した教室や高齢者向けの講座、障害者の社会参加推進のための社会見学など、各種の講座や教室などを開催することによって、文化に触れ、学び、体験する機会を提供するとともに、自主的な活動の育成を支援するなど、生涯学習の充実を図ります。

平成23年度に開催される国民文化祭における本町での「少年少女合唱フェスティバル」の成功に向け、平成19年度に結成した精華町少年少女合唱団の活動を充実させます。

また、本町の文化・スポーツの向上と発展に貢献のあった個人や団体に対して表彰を行い、文化・芸術の創造への意欲の喚起やスポーツ競技力の向上など、文化・スポーツの振興と発展を図ります。

住民の健康増進にも役立つ各種スポーツ教室の開催により、スポーツ・レクリエーション活動を推進します。

生涯スポーツの振興やニュースポーツの普及を図り、住民の健康意識を高め、住民間交流を深めるため、気軽に参加できる教室として、少年少女を対象としたジュニアスポーツ体験教室や、中高年齢者向けいきいき健康スポーツ教室など、さまざまなスポーツを体験する機会を提供します。

また、スポーツ団体との連携を図り、必要な育成や支援を実施します。



ジュニアスポーツ教室の開催

学校施設整備の推進(4億5,201万8千円)

教育環境の改善と充実を図るため、各学校での施設整備を行い、教育施設の基盤整備を進めます。昨今の異常気象等の影響による猛暑日の増加に対応するため、(新)町内小中学校普通教室への空調設備設置に向けた設計に着手します。

また、学校施設の耐震化を進めるため、平成22年度に実施している精華中学校校舎耐震化計画の策定経過を踏まえて、(新)精華中学校校舎の耐震化対応のための改築に向けた基本計画を策定します。

今後も教育施設の老朽化や耐震化対応など、異なる要因により各学校施設の改築等に迫られていることから、学校建設基金の運用など、計画的な財政運営を行うことで、これらの将来的な財政需要に対応します。

私立幼稚園との連携(6,659万4千円)

私立幼稚園児に対する保護者への就園奨励費の給付や、一般助成などを継続して実施します。特に、町内には公立幼稚園が無いことから、園児保護者への助成(町外幼稚園への通園児を含む。一人あたり月3,000円)を行うことで、負担の軽減に努めます。

さらに、町内私立幼稚園に対しては、各園運営の安定化を促進するため、運営費の一部助成を行います。

④健康長寿のまちづくり

健康づくりの推進(1億1,385万6千円)

健康増進計画プロジェクトの実践として、地域住民との協働による健康づくり・保健予防活動に取り組むほか、各種健診や保健指導、予防接種の実施、がん検診、人間ドックなどの実施により、健康で快適な暮らしづくりを進めます。特に、女性特有のがん検診について、5歳刻みの節目の年齢を対象とした受診促進を図ります。

地域医療活動の実施

①精華町国保病院の運営(一般会計:3,916万2千円、国民健康保険病院事業特別会計予算書:1億9,272万2千円)

医療法人医仁会を指定管理者とし、民間活力を導入した精華町国保病院の管理・運営を推進します。また、住民の心身の健康を守る身近な拠点として展開するため、老朽化している施設の一部を改修します。

②訪問看護サービス事業の提供(介護サービス事業特別会計予算書:2,533万9千円)

地域の暮らしに密着した町立の訪問看護ステーションとして、医療機関や居宅介護支援事業所などと連携を図り、利用者にとって安心して良質なサービスの提供を目的に、医療・介護保険の各種サービス事業を展開します。

障害者福祉の充実(4億6,836万9千円)

障害者の自立支援と社会参加を支援するため、障害者自立支援法に基づく各種の給付事業や福祉サービスを推進します。

また、障害者基本法、障害者自立支援法に基づき策定している現行の計画期間終了に伴い、(新)第2次障害者基本計画・第3期障害福祉計画を住民・障害当事者等の参加を得るなどして新たに策定します。

⑥学研都市広域連携のまちづくり

広域連携の推進(750万円)

地元関係市町で連絡会を構成し、学研都市建設推進に関わる要望活動やPR活動を展開し、広域的課題の解消を図ります。

また、けいはんな学研都市活性化促進協議会へ参画し、学研都市における広域的な文化、学術研究等の活動を促進し、地域の活性化に取り組むことで、地域全体の価値を高め、自立的な自治体経営を展望し、学研都市における広域的な文化・学術研究等の活動を促進します。



けいはんなプラザ

情報公開、情報提供の推進(1,858万2千円)

情報公開を積極的に進めるため、広報誌「華創」と町ホームページを活用し、的確な情報提供に努め、住民向け行政サービスを一覧にまとめた「住民手帳」と、町の活性化に向けてまちの魅力を発信する「町勢要覧」の更新増刷を進めます。

また、行財政運営のPDCA(計画・実行・評価・見直し)サイクルの確立を目指し、財務会計システムとリンクした行政評価システムを活用し、事務事業評価及び事務事業をとりまとめた施策評価を実施します。

さらに、自治体で取り組む「新地方公会計改革」にも対応し、財務諸表の作成など、本町の財政運営に効果的で、より正確でわかりやすい財務情報を住民に提供するため、公認会計士など専門家の支援を受けながら、新地方公会計制度への対応に努めるほか、町財政の状況や財政運営の方針をわかりやすく住民にお知らせするため、「予算・決算のあらまし」を発行します。

総合窓口等のサービス向上(575万6千円)

庁舎の基本理念の一つである「住民サービスと事務効率の向上」の一環として、ワンストップサービスのための総合窓口を実践します。

更に、待ち時間の短縮や週休日でも対応できる自動交付機による証明書発行を庁舎で運用します。

また、町南部地域「桜が丘地区」の住民サービスコーナーで自動交付機による証明書発行を行うほか、町北部地域での下粕郵便局との提携による証明書発行などにより、住民の利便性確保に努めます。

町内交通対策の推進(2,824万4千円)

住民が利用する公共施設・公共交通機関へのアクセス確保と、町内の移動の円滑化を図るため、コミュニティバスの実証運行を継続します。



精華くるりんバスの運行

図書館活動の充実(6,486万8千円)

住民の生涯学習を支える拠点として、心のふれあいの広場となる図書館をめざし、町立図書館を住民の方々に積極的に利用していただけるよう、図書、視聴覚資料の充実を図るとともに、さらに利用しやすい環境整備とサービス向上に努めます。

また、図書館は新館開館十周年を迎えるため、記念行事として講演会を実施するとともに、文学講座などの読書推進事業や移動図書館車の運行など各種行事を通じて、住民のふれあいづくりを進めます。

さらに、障害者や高齢者など来館が困難な方々を対象とした図書の宅配サービスを継続して実施します。



町立図書館でのおはなし会

ふるさとづくり寄附金の活用(71万円)

平成22年にご寄附いただいたふるさとづくり寄附金(ふるさと納税)を財源として、血圧計や歩数計など町の健診事業などで広く活用する備品を購入します。

⑤経済活性化のまちづくり

新産業創出の支援(4,534万3千円)

自立的な地域経済の発展を図る観点から、学研都市を活用した産業振興を積極的に推進するため、学研都市としてのPRや企業誘致活動を展開します。

また、地域経済の活性化と雇用機会の創出を図るため、企業立地促進条例に基づく支援制度による立地企業への助成を継続し、企業の立地を積極的に推進します。

京都府や関西経済連合会、さらには地元3市町などの資金負担により、けいはんなプラザ・ラボ棟内に設置されている「新産業創出交流センター」への参画を継続し、学研都市内に立地する企業の支援機能を確保するとともに、それらを活用した積極的な企業誘致活動の展開を行うことで、産業化支援やベンチャー企業誘致などを一体的に行い、町の活性化に引き続き取り組みます。

既存産業の振興(1,930万円)

商工業を中心とした経済の活性化を図るため、その中心的活動組織である商工会への運営助成や、京都府の融資制度との連携のもとに保証料補給及び利子補給などを継続し、活気とやすらぎのあるまちづくりを進めます。

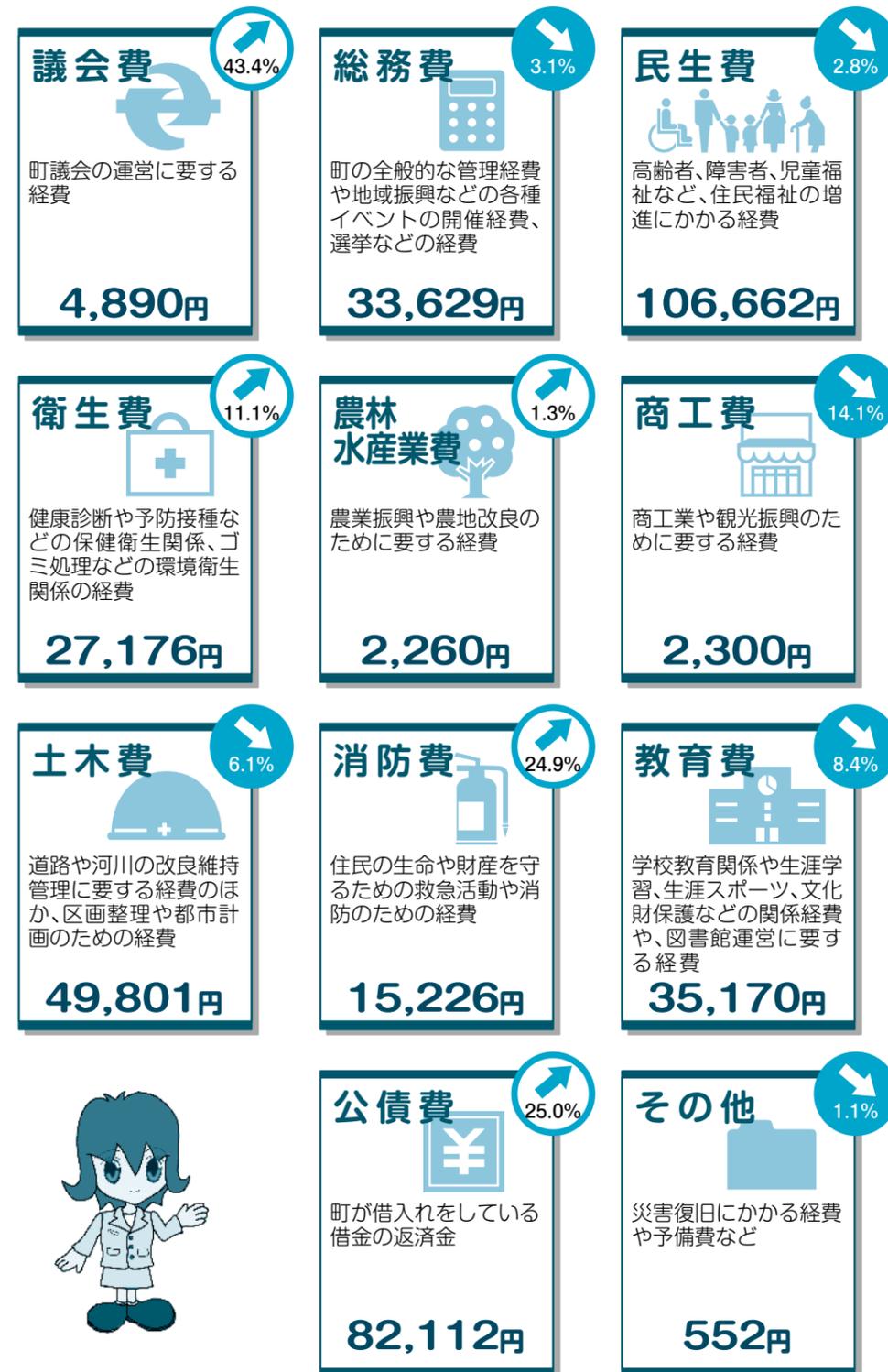
雇用機会の創出、人材活用の実施(1億2,068万1千円)

経済不況により景気が落ち込み、失業者が増加している社会情勢に対応するため、国の行う緊急雇用対策に連携して雇用機会の創出に努め、住民生活の支援と安定を図ります。

また、専門的な資格や技能を有した臨時職員等の雇用により、時間外勤務にかかる人件費を抑制して、効率的な行政運営と人材活用を推進します。

町民一人あたりでみる今年の予算

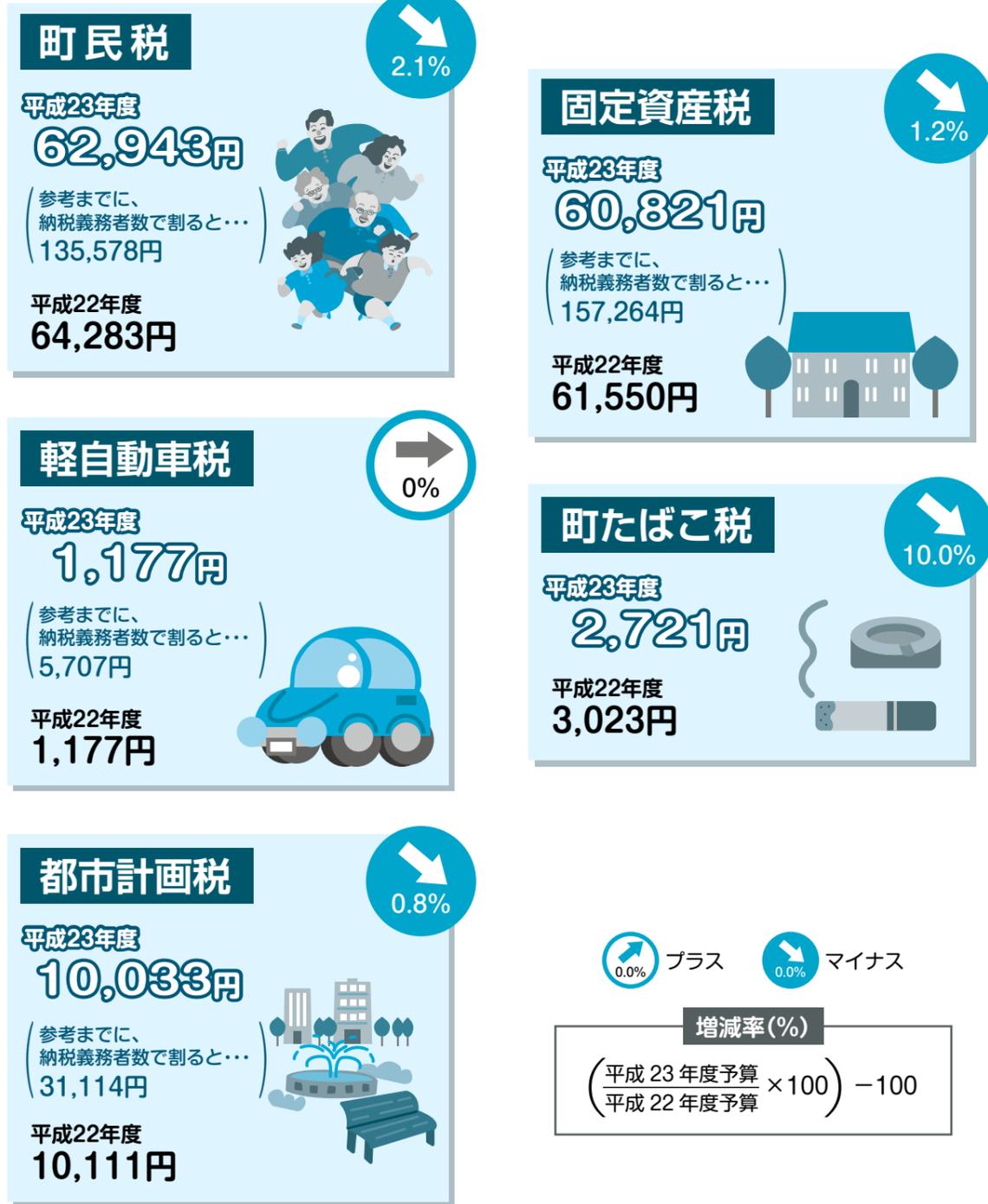
精華町の今年の予算を、色々な角度から町民一人あたりの予算にしてみました。
(平成23年4月1日現在の総人口で計算)



町民一人あたりでみる目的別の支出状況

町民一人あたりでみる町税負担の状況

金額は、平成23年度予算額を平成23年4月1日現在の精華町総人口で割ったものです。

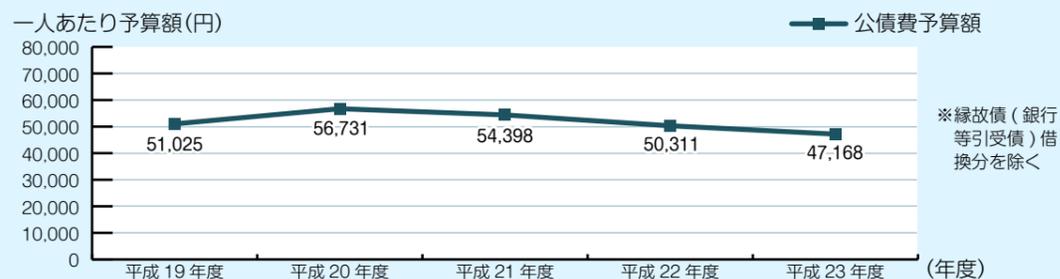


町民一人あたりでみる今年の予算

町民一人あたりでみる今年の予算

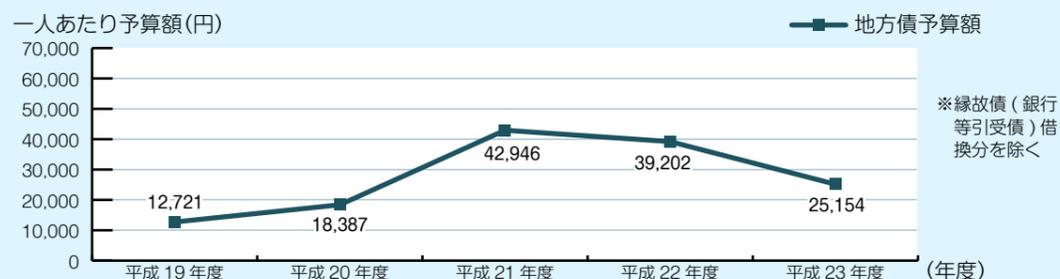
町民一人あたりでみる町の借金の返済

平成23年度の一般会計予算のうち、これまでの借金(地方債)を返済するための経費(公債費)は30億1,720万円ですが、この中には繰越資金による地方債の借換分(12億8,400万円)が含まれており、これを除いた金額を町民一人あたりにすると47,168円となります。これまで長期債務の圧縮や新たな借り入れの抑制に取り組んできたこともあり、平成21年度以降は徐々にではあるものの減少傾向が見込まれています。



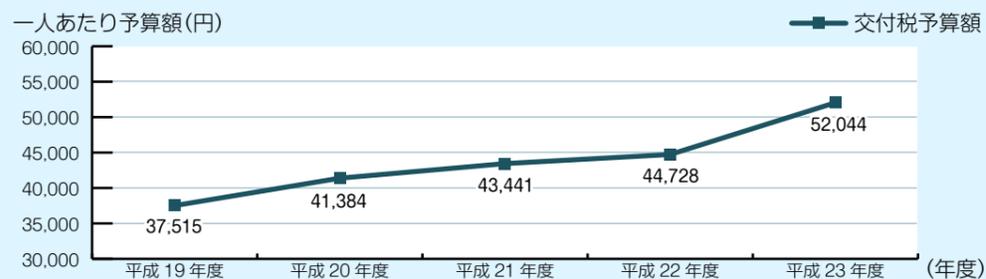
町民一人あたりでみる町の借金(地方債)

平成23年度の予算額のうち、今年度に借りる地方債の金額は9億2,430万円(繰越債(銀行等引受債)借換分12億8,400万円を除く)であり、町民一人あたりにすると25,154円となります。過度の負担を後世に先送ることのないよう、引き続き「持続可能な財政運営」を実行するために、新規の地方債発行額を年度内に償還する元金額の範囲内にとどめるなどの公債費適正化対策を実施していきます。



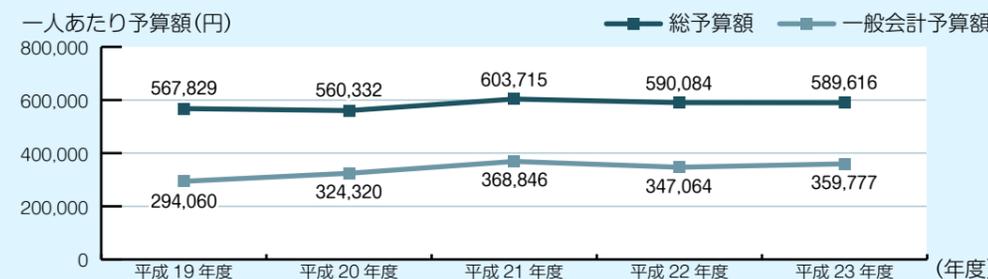
町民一人あたりでみる町の地方交付税額

平成23年度の予算額のうち、地方交付税額は、19億1,236万円で町民一人あたりにすると52,044円となります。平成19年度以降は増額傾向にあり、今年度については、国の平成23年度地方交付税予算総額が増額されることを見込んだ予算となっています。



町民一人あたりでみる町の予算規模

平成23年度の予算を町民一人あたりにすると、一般会計で359,777円、特別会計を含めた総予算では589,616円となります。経年比較をすると一般会計では増額傾向にありますが、特別会計を含めた場合は変動幅は小さくなっています。



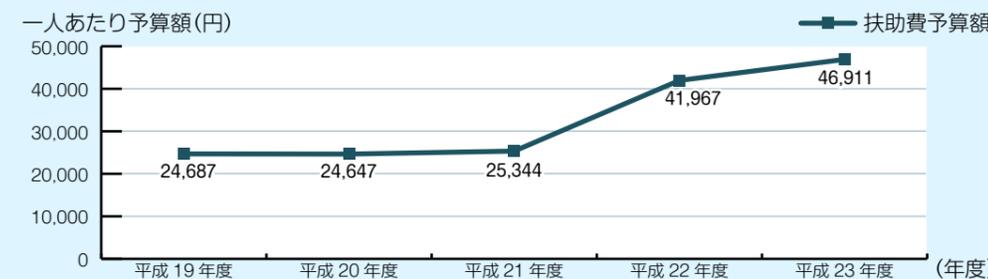
町民一人あたりでみる町の公共事業

平成23年度の一般会計予算のうち、公共事業に関する経費(普通建設事業費)は14億2,188万円で、町民一人あたりにすると38,696円となります。精華西中学校の校舎増築事業の完了や煤谷川の河川改修工事経費の減少などにより、前年度と比較すると減少しています。



町民一人あたりでみる町の社会保障給付費

平成23年度の一般会計で行う社会保障給付の経費(扶助費)は17億2,375万円で、町民一人あたりにすると46,911円となります。子ども手当の制度拡充(子ども手当給付事業)や、小学校卒業までの医療費の無料化の継続(子育て支援医療費助成事業)による増加が主な要因ですが、乳幼児や高齢者の医療費助成や障害者の生活支援などに必要な経費も年々増加傾向にあります。



町民一人あたりでみる今年の予算

町民一人あたりでみる今年の予算

財政の用語解説

◆歳入・歳出

会計年度内の収入・支出のこと

◆地方税

住民の皆さまが、町に納めて頂いた税金（町民税・固定資産税・都市計画税・軽自動車税・町たばこ税等）です。

◆譲与税・交付金

住民の皆さまが納めた国の税金の一部が、一定の基準により町に譲与又は交付されるお金です。

◆地方交付税

地方自治体間の財源の不均衡を是正し、すべての地方自治体が合理的かつ妥当な水準の行政を行うのに必要な財源を保障するもので、国税の一部から財政力に応じて国から地方自治体に交付されるもので、国が徴収する税金（所得税・法人税・酒税・消費税・たばこ税等）の中から町の財政需要に応じて交付されるお金です。

◆使用料及び手数料

各種公共施設の使用料や、住民票などの証明書の交付手数料などのお金です。

◆繰入金

一般会計や特別会計、基金などの会計間の移動を伴うお金で、他の会計や基金などから入ってくるお金です。

◆国庫支出金

特定の行政目的をもって、特定の事務・事業の全部又は一部に充てるために国から支出されるお金です。

◆府支出金

特定の行政目的をもって、特定の事務・事業の全部又は一部に充てるために京都府から支出されるお金です。

◆地方債

市町村の借入金で、その償還が1会計年度をこえるものです。学校や道路、下水道などの建設のように一時に多額の経費を必要とし、かつ長期間にわたって利用することができるものの財源に充てられます。

◆人件費

町職員や特別職の給与、町議会議員及び各種委員会委員の報酬に使うお金です。

◆扶助費

子ども手当(児童手当)、乳幼児・高齢者・重度心身障害者などの福祉サービスに使うお金です。

◆公債費

町が借り入れた地方債の元利償還金として使うお金です。

◆普通建設事業費

道路・橋梁や学校などの公共施設の整備など、公共事業に要する経費として使うお金です。

◆財政調整基金

予期しない収入減少や支出増加といった、年度間の財源の不均衡を調整し、長期的視野に立った計画的な財政運営を行うための貯金です。

◆減債基金

公債費対策として、公債費の償還を計画的に行うための資金を積み立てる貯金です。

◆その他特定目的基金

特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立て又は定額の資金を運用するために設けられる貯金です。

◆実質債務残高

後年度の財政運営を拘束する債務負担行為額と地方債の現在高の合計額です。

◆標準財政規模

地方公共団体が合理的かつ妥当な水準において行政を行うための標準的な一般財源の規模を示した額です。

◆一般会計

町税や地方交付税を主な財源として、町のさまざまな分野の仕事を行う、行政運営の基本的な経費を経理する会計です。

◆特別会計

特定の事業を行う場合や、特定の収入を特定の支出に充てるため、一般会計と区別したほうが、効率的な予算管理ができるものがあります。この場合には、法律や条例などに基づいて特別会計を設けることができ、精華町では8つの特別会計を置いています。

◆依存財源

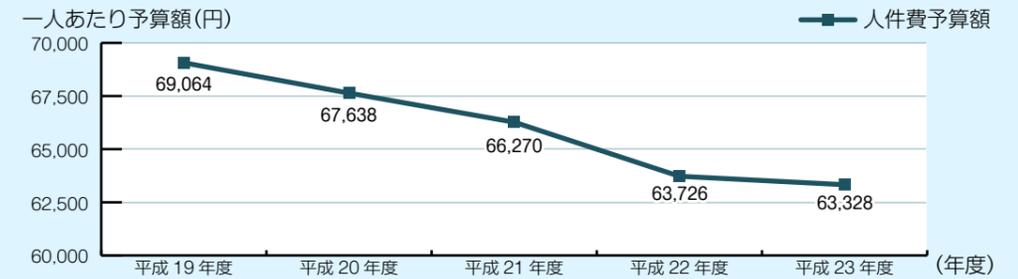
国(市町村の場合は都道府県を含む。)の意思により定められた額を交付されたり、割り当てられたりする収入をいい、地方交付税、国庫支出金、府支出金、地方譲与税などがこれに該当します。

◆自主財源

地方自治体が自主的に収入し得る財源をいい、町税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金などがこれに該当します。

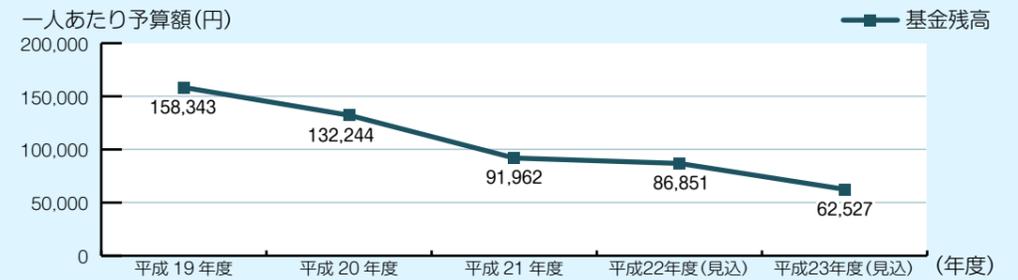
町民一人あたりでみる町の人件費

平成23年度の一般会計予算額のうち、人件費は23億2,698万円で町民一人あたりにすると、63,328円となります。平成17年度から平成21年度までの5ヵ年における「改革プログラム」等の取り組みや団塊世代の大量退職に伴う若年層の職員の増加などが要因となり、年々減少傾向となっています。



町民一人あたりでみる町の基金(貯金)

平成23年度の一般会計予算においては、基金について8億6,691万円取り崩しと利子分387万円の積み立てを予定しており、23年度末の基金残高(見込)を町民一人あたりにすると、62,527円となっています。残高減少の主な要因は、財源不足補てん措置としての財政調整基金の取り崩しや狛田駅周辺整備など特定目的事業の実施のためにこれまで積み立てた基金の取り崩しによるものです。財政調整基金残高の減少に伴い、今後の町財政運営は厳しい状況にあり、収支不足を基金に依存する財政構造からの脱却が、本町の財政運営上の懸案事項の一つとなっています。



FUJI xerox

富士ゼロックスシステムサービスは
IT化する自治体様を強力サポート。
さらなる住民サービス向上を目指します。

富士ゼロックスシステムサービス株式会社
公共システム事業部 営業統括部 関西支店
TEL 06-6225-0390 9:00-17:30

一緒にうれしい
On Your Side

みなさまのすぐなりに京都中央信用金庫がいます。

京都中央信用金庫
精華支店
JR祝園駅西300m
☎ 0774(93)1321
FAX 0774(93)1124

平田内科医院

◆消化器科 ◆循環器科 ◆一般内科
平田真人・平田理佳

| 診察時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|------------------|---|---|---|---|---|---|
| 午前 9:00~12:00 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 午後 5:00~7:00 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

日・祝日休診
駐車15台可

光台近隣センター南 Phone:0774 95-3400

町民一人あたりでみる今年の予算

財政の用語解説

●(表1) 精華町の中期財政見通し

単位：百万円 ▲はマイナス

| | | 23年度 (予算ベース) | 24年度 (見通し) | 25年度 (見通し) | 26年度 (見通し) | 27年度 (見通し) | 28年度 (見通し) |
|---------|-----------|-----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 歳入 | 町税 | 5,060 | 5,075 | 5,098 | 5,131 | 5,165 | 5,175 |
| | 譲与税・交付金 | 561 | 579 | 579 | 579 | 579 | 579 |
| | 地方交付税 | 1,912 | 1,901 | 1,884 | 1,859 | 1,833 | 1,826 |
| | 国府支出金 | 1,984 | 2,297 | 2,346 | 2,398 | 2,453 | 2,509 |
| | 地方債 | 2,208 | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 1,092 | 1,000 |
| | その他 | 948 | 948 | 948 | 948 | 948 | 948 |
| A | | 12,673 | 11,800 | 11,854 | 11,915 | 12,070 | 12,036 |
| 歳出 | 人件費 | 2,327 | 2,336 | 2,332 | 2,349 | 2,320 | 2,329 |
| | (参考)職員人件費 | 2,159 | 2,168 | 2,164 | 2,181 | 2,152 | 2,161 |
| | 扶助費 | 1,724 | 1,800 | 1,878 | 1,961 | 2,047 | 2,136 |
| | 公債費 | 3,017 | 1,693 | 1,692 | 1,659 | 1,649 | 1,536 |
| | 普通建設事業費 | 1,422 | 1,842 | 1,842 | 1,842 | 1,842 | 1,842 |
| | その他 | 4,730 | 4,588 | 4,496 | 4,451 | 4,407 | 4,363 |
| B | | 13,220 | 12,259 | 12,241 | 12,262 | 12,265 | 12,206 |
| 収支不足A-B | | ▲547 | ▲459 | ▲386 | ▲347 | ▲195 | ▲170 |

◆財政見通しの推計における前提条件

(歳入)

- ①平成23年度は、当初予算ベースで計上した。ただし、赤字補てん分の財源として財政調整基金からの繰入金(547百万円)をその他から差し引いた。
- ②町税は、現行の税制度を前提とした。町民税はやや回復基調を見込み推計した。
- ③地方交付税は、平成23年度予算をベースに町税と連動して推計した。
- ④国府支出金は、扶助費と普通建設事業費に連動して推計した。
- ⑤地方債は、普通建設事業費に連動して推計した。(平成27年度に借換債を予定している)

(歳出)

- ①平成23年度は、当初予算ベースで計上した。
- ②人件費は、議員等報酬も含み、現行の給与制度をベースに定期昇給率を補正し退職者補充を見込んで推計した。
- ③扶助費は、平成23年度予算をベースに直近決算の伸び率などを加味して推計した。
- ④公債費は、現行の償還計画に基づく所要額を積算した。(平成27年度に借換債を予定している)
- ⑤普通建設事業費は、過去5カ年度決算から特殊要因を除く平均事業費を算出して同額とした。

●(表2) 基金残高及び債務残高の推計(各年度末時点における残高)

単位：百万円

| | | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 |
|--------|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 基金残高 | 財政調整基金 | 653 | 494 | 408 | 361 | 466 | 596 |
| | 減債基金 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 |
| | その他特定目的基金 | 2,015 | 1,765 | 1,515 | 1,265 | 1,015 | 765 |
| 基金残高合計 | | 2,681 | 2,272 | 1,936 | 1,639 | 1,494 | 1,374 |
| 債務残高 | 地方債 | 16,171 | 15,710 | 15,247 | 14,813 | 14,569 | 14,252 |
| | 債務負担行為 | 5,095 | 4,591 | 4,087 | 3,583 | 3,079 | 2,575 |
| | 債務残高合計 | 21,266 | 20,301 | 19,334 | 18,396 | 17,648 | 16,827 |

住宅型 有料老人ホーム
トウインクルおしくま

2011年4月 **新築 オープン!!**

☆月額 **149,000円~152,000円**
(家賃、共給費、食費込)

さらに詳しい情報をお知りになりたいときはこちらまでお気軽にお電話ください。
けいはんなヘルパーステーション
10:00~17:00(土・日・祝除く)担当:塚元・中川

0742-52-7155

●お元気な方から要介護5の方まで幅広くご利用いただけます。
●施設内での安心した生活、個別のサービスプランを作る居宅介護支援、訪問介護やデイサービス等があり、生活をバックアップいたします。(他の事業所でもご利用いただけます)
●24時間スタッフが常駐しているため、いざという時も安心。
●足の不自由な方も暮らしやすい引き戸タイプのドアとローリング、全個室44室。
●ゆったりとくつろげる大浴場の他、個人浴室もご用意。見守りや入浴介助も可能(介護保険サービス又は有料サービス)
●お店や病院からもほど近く、生活に便利な立地。
●特別介護老人ホームにお申込みされ、入所待機中の方や入院中で退院後の生活に不安を抱えておられる方等、今お預りの方...心配ごとのある方...一度ご相談下さい。

JA京都やましろ 精華町支店
便利で安心! JAバンク

精華町祝園駅西1丁目3 1-5

TEL 0774-94-2103
FAX 0774-94-5739

精華町の中期財政見通し(平成23年度~平成28年度)

平成23年3月に、精華町の中期財政見通し(左のページの表1と表2を参照)を策定しました。一般会計を対象として、平成23年度予算をベースに、平成24年度から平成28年度までの5か年度を推計期間として、本町の将来的な財政収支を見通すために策定したものです。国の情勢や経済状況など地方を取り巻く先行きの不透明な背景もありますが、策定時点における把握可能な数値を用いることによって推計しています。

平成23年度の予算ベースで、5億4,700万円の収支不足が発生し、財政調整基金の取り崩しによって不足を補っている厳しい状況ですが、公債費適正化に向け債務残高の減少に取り組みながら、平成24年度以降の5か年度で、収支不足を3分の1程度にまで改善する見通しです。今後も財政健全化の取り組みを継続しながら、多様な住民サービスの水準を可能な限り維持するために、事業の選択と集中を強化します。

1. 歳入の見通しについて

→左のページ 表1

町税については、現行の税制度を前提として、住民税について長引く景気の低迷を脱して緩やかな回復を見込み、固定資産税について積極的な企業誘致活動の推進などによる全般的にやや回復基調を見込んでいます。歳入総額として、地方債に多額の借換債を含んでいる平成23年度当初予算を除くと、平成24年度以降の5か年度に、約120億円程度で、緩やかに増加傾向をたどるものと推計しています。

2. 歳出の見通しについて

→左のページ 表1

人件費は、団塊の世代の退職者補充なども見込んで、約23億円程度で、ほぼ横ばいで推移する見通しです。扶助費は、制度対象者の増加に伴い、今後も増加する傾向が顕著です。歳出総額として、約122億円程度と、大きな変動はないものの、各年度において収支不足額が生じています。

3. 基金残高の見通しについて

→左のページ 表2

平成16年度末で約58億円保有していた基金も、この間の繰上償還などの財源として、減債基金の大部分を投入したことや、実質的な歳入不足を補てんするために、財政調整基金を活用したこと、教育施設の整備や、土地区画整理事業などの課題事業に対応するために積み立てた特定目的基金を活用した事業の実施などによって、残高を大きく減らしました。基金残高の状況から、課題事業の計画立案には、先行して必要となる財源を基金に積み立て、一定額の財源が確保でき、事業実施の見通しが立った段階で、事業着手に移行するなど、より計画的な財政運営に努めます。

4. 債務残高の見通しについて

→左のページ 表2

投資的事業の事業計画を見直すことで、新規の地方債の発行額(借入額)を、年度内に償還する元金額(返済金)の範囲内に抑制することなど、公債費適正化対策を実施していることから、地方債残高と債務負担行為に基づく今後支出予定額の債務残高合計は、年々縮小していくものと推計しています。

平成23年度『予算のあらまし(まちの羅針盤)』 の発行にあたって

このたび、千年に一度とまで言われる大震災、「東日本大震災」が発生し、地震と津波、さらには原発事故により、各地で甚大な被害をもたらされていることは、皆さまもご承知のとおりであります。

ここに、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りしますとともに、被害に遭われた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

これまで、町といたしましては、京都府や関係機関と連携し、現地での救助活動や給水支援活動、さらには住民の皆さまからの支援物資や義援金の受け付けをしてまいりました。

被災地復興に向けた取り組みは、おそらく長期にわたることになると思いますが、今後、町としましても、最大限、被災地支援にあたってまいりたいと考えておりますので、どうか、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

さて、新年度を迎え、各事業のスタートにあわせて、今年も『予算のあらまし』（平成23年度予算版）を作成いたしました。

この『予算のあらまし』の作成は、毎年10月に発行している『決算のあらまし』とあわせて、住民の皆さまに本町の財政事情を公表する取り組みの一環として、平成16年度予算より継続して取り組んでいるものです。町議会での議決により決定しました平成23年度の町予算の内容を中心に、今年度に取り組む主要事業をはじめ、これからの本町のまちづくりに大きな影響を与える財政状況や、予算の概要を、イラストやグラフなども活用して、できるだけ分かりやすくお伝えしたいと工夫しながら、本誌の作成に取り組んでいます。

わが国の情勢は、国全体の経済危機や景気の低迷を背景にして、先行きの不透明感から連鎖する雇用情勢の悪化も改善されず、新規大卒者の就職内定率も一層低下するなど、低所得者層の広がりによる住民の生活格差の拡大が浮き彫りとなっています。本町の財政においても、昨今の不況を背景とした所得の減縮が、町税収入に大きく影響を及ぼすことが予想されます。不足する財源を基金の取り崩しに依存せざるを得ない本町の財政運営は、厳しい局面を迎えるとともに、財政構造の転換を余儀なくされており、費用対効果などのコスト感覚を伴った、効率的かつ効果的な行財政運営に向けた取り組みの強化が求められています。

景気好転の兆しが見えないなかで、依然として厳しい財政状況ではありますが、現状の各種行政サービス水準の維持に精一杯努めたいとの思いから、福祉や医療といった住民サービスに直結する扶助費の確保を図りつつ、小学校卒業までの通院医療費無料化の継続や、ほうその保育所とほうその第2保育所の統合保育所の開所、町内小中学校教室への空調設備設置に向けた設計業務、精華中学校の耐震化対応のための改築基本計画策定、消防本部の救助工作車と消防救急指令台の更新、狛田駅東特定土地区画整理事業の推進など、公約実現と緊急雇用対策や重点化政策などの懸案課題の具体化に向けて、これまでの行財政改革の取り組みを継続するなかで、選択と集中型への転換をより一層強化し、平成23年度予算の編成を行うことができました。

今後も、より質の高い行政サービスの実現をめざし、町民の暮らしを守るため、「ふるさは“ここ(精華町)”と誇れるまち」を基本理念として掲げ、いかなる困難にも立ち向かい、全力で取り組んでまいりますので、引き続き皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

平成23年4月

精華町長 木村 要

まちの羅針盤

精華町の財政状況公表資料(予算篇)

- 発行 … 平成23年4月 精華町役場 総務部 財政課
- 住所 … 〒619-0285 (個別番号)
京都府相楽郡精華町大字南稲八妻小字北尻 70 番地
- TEL … 0774-95-1914 (財政課ダイヤルイン)
- FAX … 0774-93-2233
- ホームページ … <http://www.town.seika.kyoto.jp>
- E-mail … zaisei@town.seika.kyoto.jp
- 印刷 … 関西美術印刷株式会社

